

全体目標
がんにより死亡する人の減少
がんの年齢調整死亡率(75歳未満、人口10万人当たり)を平成29年度までに20%減少させる。

すべてのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上

【目録】 住んでいる地域にかかわらず県民が希望する医療を受けられる。

部会が担当する分野の課題と目標
中期目標：2015年までにすべての病院・施設がバスについて知識をもち、各医療機関の医療資源を把握し、有効活用する
指標：バス患者適用率

測定方法：拠点・支援病院のバス対象患者数・適用患者数の件数を合算、分析

測定方法：拠点・支援病院のバス対象患者数・適用患者数の件数を合算、分析

施策毎のアウトカム目標
【アウトカム目標1】
医療者、行政などから医療機関の機能や役割が見え医療資源が適切に有効活用される。

【アウトカム目標2】
地元の施設にかかる患者の増加

施策毎のアウトカム目標
【アウトカム目標1】
2013年3月までに院内がん登録データを収集し、院内がん登録データを用いて症例区分を集計する。

【アウトカム目標2】
2014年3月までに100人、沖縄県内でがん地域連携クリティカルバスを適用する

施策アクションプラン
【施策1】
八重山・宮古・久米島・北部ではがん診療を行っている医療機関に、院内がん登録を明らかにする。

【施策2】
沖縄県の医療施設把握のため、2012年沖縄県が行った「沖縄県医療機能調査の結果を公表するよう働きかける。

ワークシート1
で導き出された対策項目

【対策項目1】
医療者、行政などすべてに対応する情報不足の解消

【対策項目2】
地元医療施設での治療の促進

【アウトカム目標3】
2014年3月までに100人、沖縄県内でがん地域連携クリティカルバスを適用する

【施策3】
がん地域連携クリティカルバス研修会を企画開催する。

【アウトカム目標4】
2014年3月までに100人、沖縄県内でがん地域連携クリティカルバスを適用する

【施策4】
胃がんと大腸がんの化学療法を作成し、研修会を行う。

【アウトカム目標5】
2014年3月までに子宮がん地域連携バスを作成し、運用する

【施策5】
子宮がん地域連携バスを作成する

【アウトカム目標6】
2014年3月までに100人、沖縄県内でがん地域連携クリティカルバスを適用する

【施策6】
肺がん地域連携バス、乳がん地域連携バスの運用、評価、改訂、評価各施設の運用強化を行う

【アウトカム目標7】
2013年11月までにWGで小児がんおよび希少がんの医療連携について検討を開始する

【施策7】
小児がんおよび希少がんWGを設置する

【アウトカム目標8】
2014年3月までに委員が発表する論文を作成する

【施策8】
地域ネットワーク部の活動報告および実績を論文化する